

災害時の情報収集に一役

すずらん団地町内会は、災害時の情報収集に役立ててもらおうと、町内会に加入している一人暮らしや高齢者の世帯を中心に、電池式の携帯ラジオを60台配布しました。

いざというときの備えとして、より多くの方に携帯ラジオなどを準備してもらえよう、今後対象を拡大した配布を計画しています。

すずらん団地町内会

会長 竹中 博和



スマートフォンで密を避ける

市連合町内会三役は、通信アプリ『LINE』を活用し、小笠原市長とビデオ通話を行いました。多数の人が集まる地区懇談会が中止となったことを受け、各地区の連合町内会から要望のあった案件などを、新たな手法で市長に伝えたこの日。接触の機会を減らし、密を避けることのできる『オンライン』の今後の可能性を確認しました。

市連合町内会総務部会

部会長 工藤 保秋



地域の安全を守る

富岸町内会は、空き巣や車上荒らしなどの犯罪を寄せ付けない地域づくりを目指し、夜間の防犯パトロールを行いました。おそろいのベストを着用し、

防犯灯を持った参加者28人は、2班に分かれ、外灯の明かりが届きにくい箇所を重点的に約1時間かけてパトロール。これからも、地域の安全安心を高める活動に取り組んでいきます。

富岸町内会

会長 工藤 保秋



冬の通学路を快適に

新川町内会は、降雪量の多い日や道路が凍結した際に、通学路の除雪・整備を行っています。昨年から実施しているこの活動では、子どもたちが安全に通学できるように、早朝から登校時間までに作業を完了。

作業では、融雪剤やつるはしなどを用いて氷を割ることもあり、日々、力を合わせて、子どもたちの笑顔を守っています。

新川町内会

会長 由井 武彦

